



COP10協賛事業「テーブルの上の生物多様性」

ユニーは売り場に並んでいる食品も「生物多様性」につながっていることを、お客様や従業員に知ってもらい、身近なものにしてもらうために「テーブルの上の生物多様性」をテーマにしました。「私達の毎日の食べ物は生き物の命」ということを伝え、自然環境や、そこで生きる生物を大切に守りながら生産した食べ物を選ぶことが、生物多様性に貢献できるのだということを知ってもらうために店舗でイベントを開催しました。

テーブルの上の生物多様性

～毎日のテーブルの上にある食べ物は「生物多様性」の恵み～



母牛が子牛のためにつくったお乳を分けてもらいます。

食品リサイクル～命をつなぐ環

食べられなかった食品残さを原料にした堆肥を使い、微生物やミミズが生きている健康な土壌で野菜や米が育てられています。

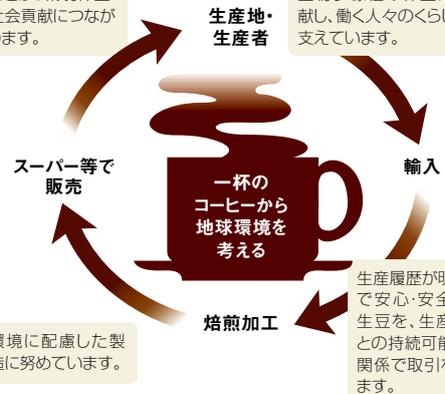


サステナブルコーヒー

熱帯雨林の下で栽培するシェイドグロウン農法。ジャングルの木陰で育てたコーヒーは、虫やカエルの生きているジャングルの環境を守ります。

消費者が購入することが、環境保全・社会貢献につながります。

環境に配慮した農園は、生物多様性の保全に貢献し、働く人々の暮らしを支えています。



「テーブルの上の生物多様性」COP10に参加

COP10開催地である愛知県・名古屋市では、COP10開催中に会場周辺などで一般市民と交流活動が行われました。ユニーの生物多様性のテーマである「テーブルの上の生物多様性」のイベントをこうした会場で開催し、一般市民の方にも参加しやすい活動を行い、COP10に協賛しました。



生物多様性交流フェア 環境紙芝居を実施



メッセなごやにて 一般市民参加型イベントを開催



地球いきものEXPOいきもの折り紙を開催

エコロキッズプロジェクト

「エコロキッズプロジェクト」は名古屋で開催されたCOP10のパートナーシップ事業として、ユニーと朝日新聞社が共同で立ち上げた環境プロジェクトです。「地球の未来を担う子どもたちのための環境教育」をテーマに、子供達がキッズリポーターとして参加する「干潟の動きを知ろう!」藤前干潟の体験教室や、さかなクンと一緒に学ぶ環境イベント「大切にしたい! 自然といきもの」をテーマにした絵画コンテストなど、一年を通して、子供達が環境について考え、自らの問題として取り組んでいくことを目的としています。



エコロキッズ体験教室 藤前干潟



「大切にしたい! 自然と生き物」 絵画コンクール



さかなクンといっしょに環境イベント

森の町内会

「環境レポート2011」に3.5トンの間伐材から作った紙を使うことで、長野県駒ヶ根市で0.2haの間伐を促進することができました。森の町内会は、森と企業をつなぎ、間伐と間伐材の有効利用に取り組み森林保全を推進するシステムです。



保全されている森林を視察